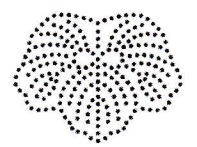


「リウマ伝」は高野の分身が お客様のほうへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リウマ伝

78号

2026年5月26日
高野 竜馬

「まもなくワールドカップ」

僕が中学生だった頃、体育の先生がこんなことを話してくれました。

「日本ではオリンピックが大きい取り上げられるけど、世界で一番大きなスポーツイベントはサッカーのワールドカップなんだ。それは日本のように小さなスタジアムしかない国で、開催されることはないけどね。」

それがキッカケで、初めて見たのがスペイン大会。深夜まで起きてブラジルのジーコのフレイに魅了されました。

学校の先生、よく物事を知ってるな〜と思った反面、後に日韓ワールドカップが開かれた時、学校で習うことはいずれ陳腐化するもんだ、とも思っ

たエピソードです。

そんなワールドカップがまもなく開幕します。今回、日本以外で私が注目しているのがスコットランド。それはあるショート動画に感動したことがキッカケです。

今から20年ほど前、日本代表でもあった中村俊輔選手がスコットランドのセルティックでプレイしていた時のこと。

サッカー教室が終わった時、10歳の或る少年に自分の履いていたスパイクを脱いで、その場でプレゼントします。

「今日、一番良いプレイをしたから」。信じられない顔で受け取る少年。はにかんだ顔が、とても可愛い。そのシーンに続くのは20年後の映像。

スコットランド対デンマーク戦、ワールドカップ最終予選のラストタイム(93分)。

「ティアニー、左足だ〜」。ワールドカップの切符を掴む瞬間。ティアニーの左足が炸裂です。28年ぶりにスコットランドがワールドカップに戻ります。

そう、あの時の少年が決勝点を挙げるのです。それも漫画のようなスーパーゴールを。

たった1分の動画ですが、見る度に私の涙腺は崩壊します。



実は、この動画には続きがあります。中村俊輔と再会を果たすのです。

再開早々、「あのスパイクは家にまだあります」と写真を見せるティアニー。

あの時は一番上手かった人にあげたんじゃなくて、一番サッカーにのめり込んでいる人になつたの。まさかこんなトップ

プレイヤーになると思ってたかったから自分もすごく嬉しい」と中村俊輔。

今回もファンタスティック(幻想的)なプレイに世界中のファンが感動し、「憧れ」の連鎖が生まれることでしょう。

最近サッカーで元氣のない息子もワクワク感を出して欲しいと願って観戦します。

シーンは
3分47秒から
(1分)
↓



たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
☎090-3407-2123
<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com